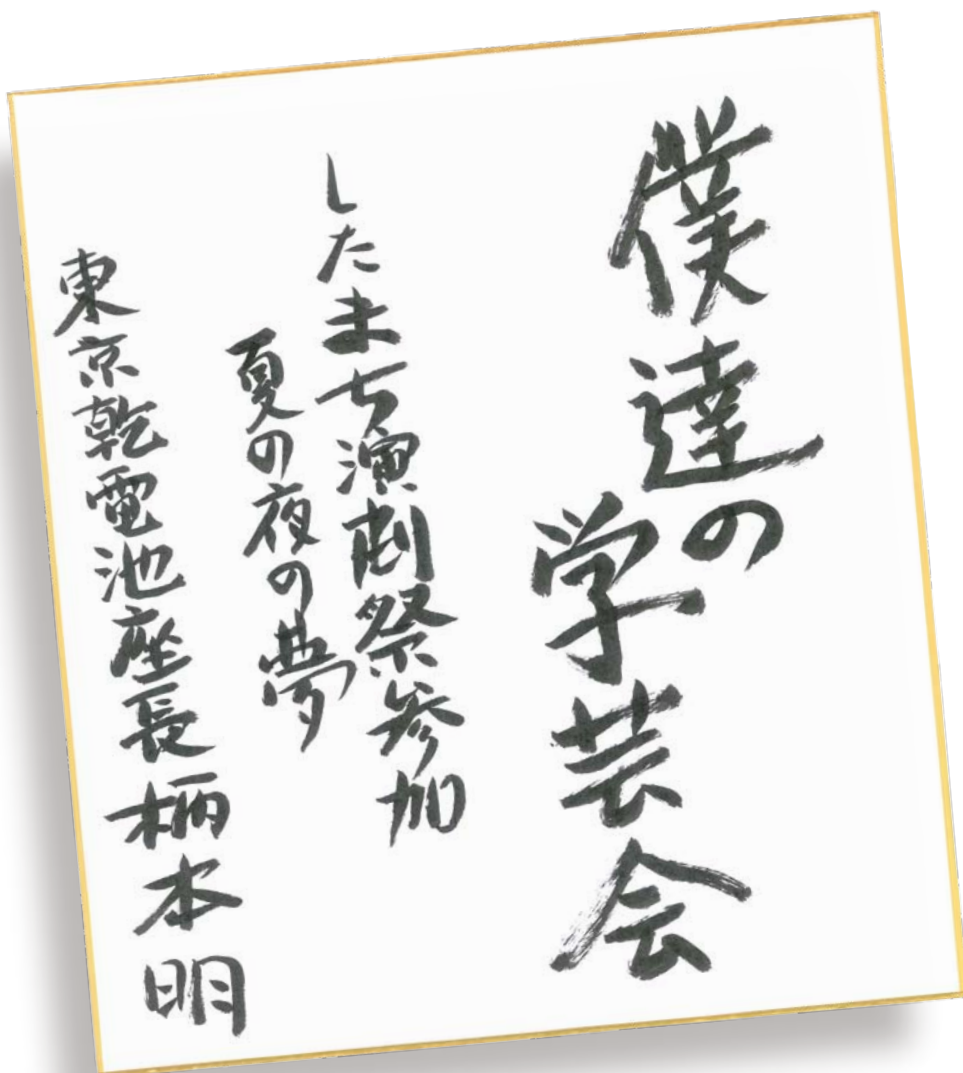


一筆入魂 ～サインはおまかせ～

色紙にしたためた思い、そして次回作への意気込みを語ってもらうコーナー「一筆入魂」。
第71回目のゲストは柄本明さん。



柄本明 (えもとあきら)

1948年、東京都生まれ。俳優。1976年、ベンガル、綾田俊樹と共に劇団東京乾電池を結成。チェーホフの『煙草の書について』や、シェイクスピアの『夏の夜の夢』などの作品を、既成にとらわれない演出で上演し続けている。舞台以外にも映画、テレビドラマと様々な分野で活躍。主な映画出演作に『カンゾー先生』(98年、日本アカデミー賞最優秀主演男優賞)、『やじきた道中でれすこ』(07年)、『悪人』(10年、日本アカデミー賞最優秀助演男優賞)、『許されざる者』(13年9月公開)がある。2011年、紫綬褒章受章。



第4回したまち演劇祭参加 劇団東京乾電池『夏の夜の夢』

- 2013年8月20日(火)～26日(月)
- 雷5656会館 ときわホール
- 前売2,500円 当日3,000円
高校生2,000円 小中学生1,500円
(全席自由・税込)
- <http://www.tokyo-kandenchi.com/>
- tel. 03-5728-6909

■色紙のことは

学芸会って好きなんです。小っちゃい子供がワチャワチャやってるやつ、あれってなんか感動というか泣けるんです、子供の可愛らしさに。でまあ、我々は大人になっちゃったからあまり可愛くないんだけど…、でも学芸会みたいに来たらなあーと。何が面白いんだか、何がつまんないんだか分からないですね、これ面白いから観に来て下さいって云えない。自分でもよく分らない。でも、東京乾電池って劇団も今年で37年やってんだけど……
まあ、兎に角観に来てもらったらウレシイです。

■「次回公演」

浅草の木馬館で約40年前、“花芝居江戸のズッコケ”って芝居が東京乾電池の旗揚げです。ものすごく駄目で、一日限り二回公演で芝居やってる最中、客席から声がかかりまして、「エモトッそれでいいの」って。新宿ゴールデン街脇の小茶って飲屋の二階の3帖で打ち上げて、あんまり情なくて、飲んでたコップ酒を握力で割ってしまいました。それ以来の浅草です。えーっ、ヨロシクお願いします。

PRESENT!

この色紙を1名の方にプレゼントいたします。郵便番号・住所・氏名・年齢・応援メッセージを添えて、〒162-0828 東京都新宿区袋町25番地 カンフェティ「一筆入魂」係まではがきでご応募下さい。当選は、発送をもって代えさせていただきます。